

平成27年9月吉日

特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会
ご担当者 さま

「学術分野ごとの『文化』の比較調査」に関する
ご協力のお願い

拝啓

時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。このたび、各学術分野の「文化」に関する調査を企画いたしましたので御案内申し上げます。

各学術分野の相互理解は、昨今の人文社会系見直し等の議論に代表される学問、大学のあり方の議論において、決して欠かすことのできないものです。しかし、その理解のための基盤的な知見はこれまであまり注目されておらず、各学術分野に所属するそれぞれが、個人的経験のみに依存した「学術分野観」のもとに議論しているのが現状ではないかと考えております。このようなディスコミュニケーションの状態を打破し、学術分野間の相互理解を促進することを目的に本調査を企画いたしました。

全国の研究者のみなさまからの現況を伺い、価値観（研究感、世界観、評価基準など）、および行動特性（研究スタイル、研究コミュニティ活動など）を各分野ごとに分析、比較した調査結果を、WEB掲載の他、冊子作成やシンポジウム開催等において公開させていただく予定です。

つきましては、本調査の趣旨をご理解いただき、貴学会員様へのご案内、周知等のご協力をぜひともお願い申し上げます。

なお、ご案内、周知に際しましては、本紙趣旨等を改めてメールにてご案内させていただきますので、その文面をご利用いただけましたら幸いに存じます。

ご不明な点等ございましたら、お手数ですが下記までお問合せください。

ご多用中のところ、誠に恐縮ではございますが、何卒ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

京都大学学際融合教育研究センター「学術分野の文化比較大調査」専用サイト
<https://survey2015.symposium-hp.jp/>
（「京大国際センター」で検索し、バナーをクリック）

【お問い合わせ先】

京都大学学際融合教育研究推進センター
准教授 宮野公樹

〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町 文学部東館 358 号

TEL: (075) 753-5338

E-mail: survey2015@cpier.kyoto-u.ac.jp

HP: <http://www.cpier.kyoto-u.ac.jp/>

論文は共著が当たり前って理系だけ？
著書と論文、どっちが高い評価？

いったい我々研究者は他の研究領域のことを
どのくらい理解しているのでしょうか？

各学術分野の相互理解は、昨今の人文社会系見直し等の議論に代表される学問、大学のあり方の議論において、決して欠かすことのできないものです。しかし、その理解のための基盤的な知見はほとんどないといっているのではないのでしょうか。みながみな、個人的経験のみに依存した「学術分野観」の下に議論しているのではないのでしょうか。

このようなディスコミュニケーションの状態を打破するため、
大々的に学術分野の調査を開始します。

分野が違えば世界が違う?!

学術分野の文化 比較大調査

- 学術分野を **79** もの種類に分けて調査
- 対象は日本語理解可能な**全分野の研究者**（学生、院生は除く）
- 回答はすべて選択。所要時間 **8～18分**。回答特典もあり
- 「そんなこと考えたこと無かった…」という**気づきの質問**も?!

<http://www.cpier.kyoto-u.ac.jp/>

「京大 学際センター」で検索

* 本調査は2014年度科研費挑戦的萌芽研究「異分野融合研究の研究」(代表: 京都大学 宮野公樹)の成果をもとに、京都大学学際融合教育研究推進センターの協力のもと実施しています。